

人材を「人財」に育て上げ、金型業界をリードする 株式会社山岡製作所

今回は、社員全体のスキルアップを目的とした「山岡スキル・マネジメント教育」を考案、実践され、企業としての技術・開発の総合力を高めることで、ビジネスフィールドを拡大されている株式会社山岡製作所の代表取締役社長の山岡祥二氏にお話を伺いました。



山岡 祥二 代表取締役社長

会社概要

山岡製作所は、金型・プレス部門を中心に電子部品や半導体を製造するために使用する金型や金型を使ったプレス加工品製造とメカトロニクス部門での装置製造を行っています。当社では、常に顧客ニーズを先取りし、信頼される商品、サービスの提供を行うために、社員がスキルアップを目指し、積極的に自己研鑽に取り組んでいることが、大きな力になっています。

人材育成の仕組み

当社では、「人が育つ環境を造る」経営基本方針と「Management Of Skill」という事業戦略のもと、山岡スキル・マネジメント教育という人材教育システムを確立しました。この教育では、山岡製作所の社員として必要な基礎技術や知識を162の科目として設定し、それぞれ習得した科目に応じたポイントを付与します。社員は付与されたポイントの蓄積に伴い昇格・昇級する職能資格制度で、頑張ればスキルアップすれば給与や役職が上がるという目標を明確に示すことで、社員の向上心を大きく高めています。科目は社員全員に公開しており、受講については、希望者が1人でもいれば必ず開催します。金型製造に関わる技術的なものはもちろん、IE(Industry Engineering)や品質管理、機械加工などの幅広い内容があり、上級の科目では国家検定の合格を目指すものもあります。科目の追加については、教育推進委員会という場で検討し、その時に必要なものをどんどん充実させていきます。

人材の活用と成長

講師は、どの科目も全て自社社員が担当します。今までに受けた講習の資料を活用し、必要ならば新たに作成しています。教育資料は共用で、見たい時にはいつでも閲覧可能な状態です。講師を務めるのに職歴は条件ではなく、新入社員であっても知識や能力を持っているものであれば、誰でも講師として活躍してもらっています。また、マンパワーアップ活動として、全社員を対象に、個々が自身の現状を認識し、今はこの程度のレベルだが1年間でここまで伸びたいという目標に向かって実践した後、本人評価と上司の評価で達成度の確認をします。内容的には、技術の担当者でも経理の担当者でもスキルアップを目標にする者が多いです。評価のところ、習熟の部分とマンパワーアップ活動による上積み部分の見極めは難しいですが、目標を持って仕事に取り組む姿勢こそが大事だと考えています。

人材育成をはじめたきっかけ

人材育成がいかに大事かということは、どこの企業でも認識しておられることですが、実際にアクションに結びつけるには、なかなか難しいものがあります。当社の場合は、私が入社した頃から、当時の取引先だった企業から教えを受け、社員が熱心に勉強するといった人材育成の土壌がありましたが、職能資格制度の導入を機に体系的な勉強会の仕組みを整えていきました。本格的に導入する時、「やるぞ」という意思表示は私が行いました。すぐに委員会を立ち上げ、一生懸命議論しましたが、当初は科目も少なく、教える側の人材も少なかったので苦労しました。社員の理解を得て意味を成す取組なので、朝礼の場で教育の重要性や当社にとって人材育成は1番の課題なので、自分のためにも会社のためにも頑張してほしいということを訴え続け、徐々に軌道に乗せていきました。

人材育成の成果

人材育成の成果は、データとして明確に見られるものではありませんが、作業時間の短縮や設計品質の向上による失敗コストの低減など、仕事の品質が上がるといった形で日々の仕事に現れていると思います。当社が今後、生き残っていくためには、自社製品開発力強化やあらゆるニーズに対応できる技術力の向上が必要ですが、人材育成はそれらの課題に対して大きな効果があります。



DATA

株式会社山岡製作所
代表取締役社長 山岡 祥二 氏

所在地 〒610-0101 京都府城陽市平川横道93
 創 立 昭和13年(昭和29年から株式会社に改組)
 資 本 金 62,400千円
 従 業 員 270名
 事業内容 精密金型、半導体・電子部品製造装置の設計、製造および精密プレス加工
 T E L 0774-55-8500
 F A X 0774-53-7873
 U R L <http://www.yamaoka.co.jp/>

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
E-mail: design@mtc.pref.kyoto.lg.jp